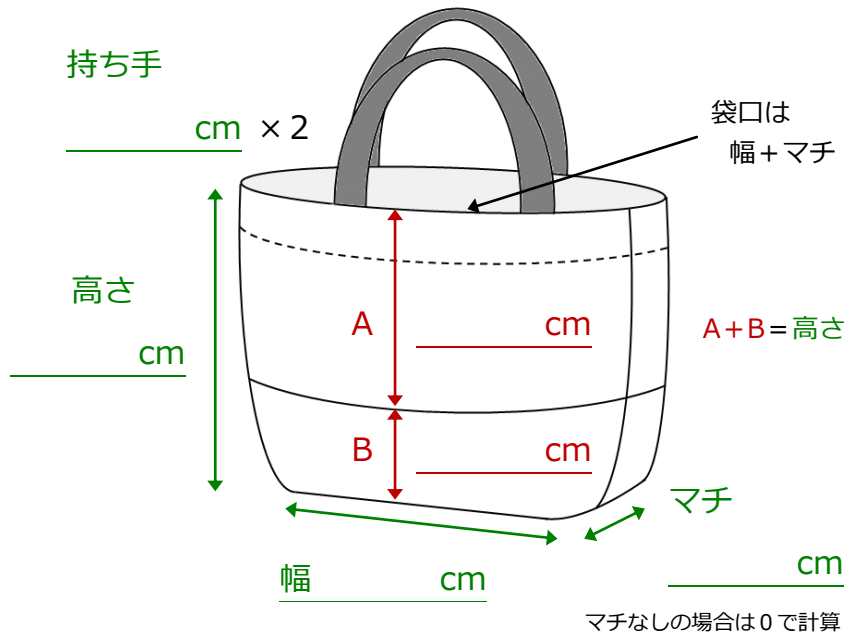


# レッスンバッグ 切替なし・切替あり

作りたいバッグの寸法を記入

- レシピは、切替なしがマチなし、切替ありがマチありですので、どちらかを参照してください。
- マチのある袋物は立体にしたときのサイズで寸法を取りましょう。袋口になる箇所の長さは「幅+マチ」です。
- 持ち手は高さ 30cm×幅 42cm のバッグで、40cm のカバンテープ 2 本が目安、ポケットのサイズは自由です。
- まず基本の寸法を計算し、「柄に上下がある布」と「布を切り替える際の布の配分」は、布を縫い合わせた後の値が「基本の寸法」に等しいことを確認してください。

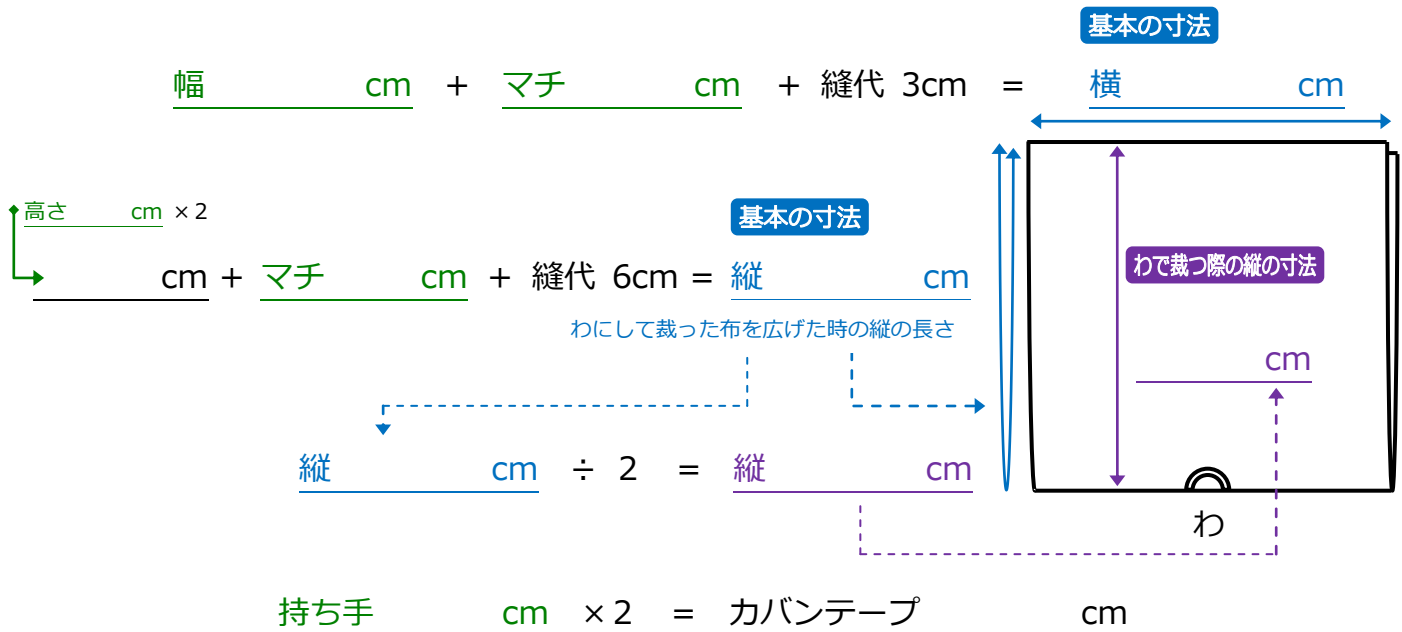


切替ありのとき  
AとBを足した値が高さに等しくなるよう分配する。

## 基本の寸法

柄に向きがない布の計算 わにして裁つ (裏袋はこの裁ち方を推奨)

- ここで計算した値が「基本の寸法」になります。布を縫い合わせる必要がある場合、布をはぎ合わせた後の縦の寸法は「基本の寸法」に等しくになります。横の寸法は共通です。
- 「わ」とは布を2つに折り畳んだ際の折山の部分です。布を中表に畳んだ状態で裁断します。

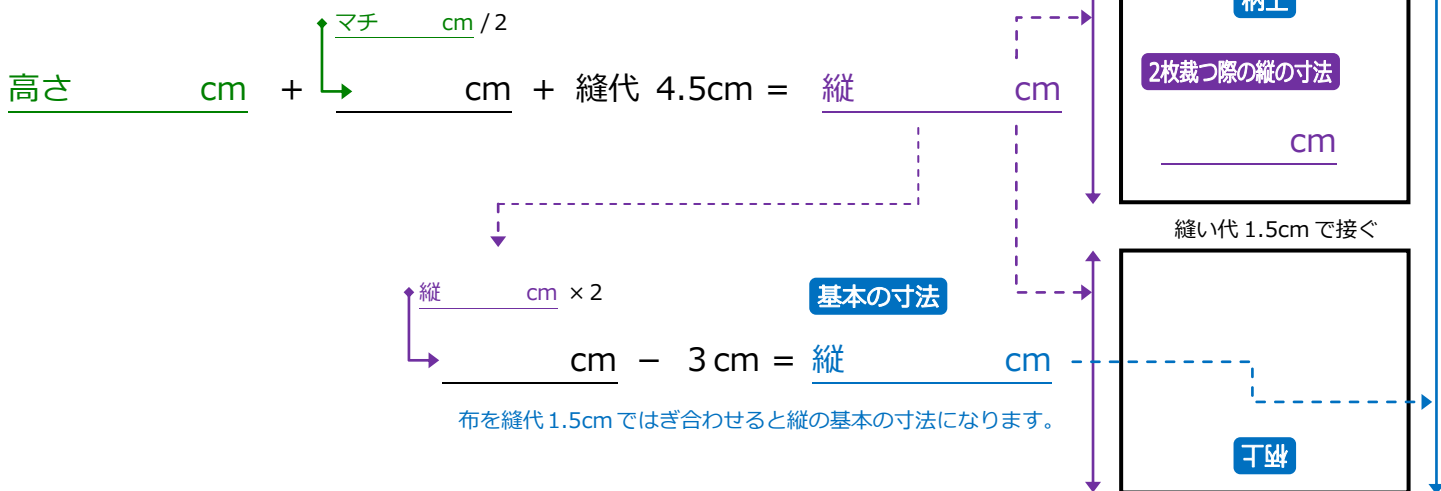


※作例の持ち手は 40cm です。持ち手を布で作る場合はサイト参照。

## 柄に上下がある布の計算 2枚裁ち、中心で縫い合わせる

- 2枚の布を縫代 1.5cm で縫い合わせます。  
生地に柄がある場合、柄の向きに注意してください。(図参照)

- 布をはぎ合わせた後の値が「基本の寸法」に等しいことを確認してください。



## 布を切り替える際の布の配分

- それぞれの布を寸法どおりに裁断し、縫代 1cm で縫い合わせます。  
縫い代は布 B 側に倒し、B の端から 1 ~ 2 mm の位置に表からミシンで押さえのステッチを入れてください。

- A の生地に柄がある場合、柄の向きに注意してください。(図参照)  
B には無地やチェックなど、柄に上下のない生地を選んでください。

- 布をはぎ合わせた後の値が「基本の寸法」に等しいことを確認してください。

